公益社団法人
被害者サポートセンターおかやま 機関誌

いつでもそばに

第21号
2026年7月1日
発行

目 次

・巻頭言（P2）
・海外視察報告（P3）
・VSCO この１年のあゆみ（P4）
・令和８年度総会の開催（P5）
・広報・啓発活動（P6 ～ 8）
・被害者支援活動の実施状況（P9）
・VSCO からのお願い（P10 ～ 11）
・被害者支援ボランティア養成講座案内（P12）

岡山県公安委員会指定犯罪被害者等早期援助団体
全国被害者支援ネットワーク加盟・民間支援団体
公益社団法人被害者サポートセンターおかやま
VSCO（Victim Support Center Okayama）

相談・支援に関する総合窓口
（086）223 - 5562
月～土　10：00 ～ 16：00（祝日・年末年始を除く）

性暴力被害相談専用電話
性暴力被害者支援センター「おかやま心」
（086）206 - 7511
＃ 8891（はやくワンストップ）
月～土　9：00 ～ 17：00（祝日・年末年始を除く）
上記以外の夜間休日は国のコールセンターが受け付けます

巻頭言

「第５次犯罪被害者等基本計画に基づく県警察の取組」

岡山県警察本部長　　工藤　陽代

皆様方におかれましては、日頃より犯罪被害者支援に多大なるご尽力を賜り、心より敬意と感謝を申し上げます。

さて、今年３月、「第５次犯罪被害者等基本計画」が閣議決定されました。平成16年に犯罪被害者等基本法が成立して以来、４次にわたる基本計画の実施により、犯罪被害者等への支援は大きく前進してまいりました。

しかしながら、犯罪被害者等の皆様からは依然として支援の拡充や制度の改善を求める声が寄せられているのも事実です。犯罪被害者等の困難は被害に遭った直後から始まり、長期にわたり様々な形で続くため、途切れのない支援が不可欠であり、ニーズに見合った制度の充実とともに、体制の整備や社会の理解の醸成が求められています。

とりわけ第５次計画において強く求められているのは、犯罪被害者等に途切れなく支援を届けるための体制を充実させること、そして、犯罪被害者等が置かれている状況や犯罪被害者等への配慮について社会の理解の輪を広げることです。

まず、支援体制の整備・充実といたしましては、昨年度、県が中心となって犯罪被害者等に必要な支援を途切れなく提供するための制度である「多機関ワンストップサービス」が開始されました。今年度はこれを実効性あるものにするため、被害内容やこれまで受けた支援を記録することができる「被害者手帳」を、犯罪被害者等にお渡しする運用を開始する予定です。また、犯罪被害者等から再相談がなされた際に円滑な対応がなされるために、これまでの支援内容を記録する「カルテ化」も導入が予定されております。これらは県警察が行う取組ではありますが、どちらも、関係機関・団体同士の実質的な連携がなければ絵に描いた餅であり、一層の連携強化が求められています。

次に、社会の理解の増進についてです。犯罪被害者等は、犯罪等により心身等に被害を受けた後、周囲の人々の支えや関わりを通じて被害からの回復を果たす場合がある一方で、悪意、誤解、無理解、無関心等による言動に傷つけられるという二次的被害を受ける場合があります。いずれも、より多くの人々に被害者支援への理解を深めてもらうことが、被害者が安心して助けを求めることのできる社会を実現することにつながります。

昨年度の犯罪被害者等支援に関する全国統一標語は「わたしにも　できる支援が　ここにある」でした。１人でも多くの県民に理解の輪を広げ、犯罪被害者等に寄り添うあたたかい気持ちを持っていただくために、広報啓発活動を充実させる必要があります。あえて言葉にせずとも、目にするだけで県民が犯罪被害者等支援についての意識を呼び起こすことができるよう、犯罪被害者等支援シンボルマーク「ギュっとちゃん」を効果的に活用してまいります。

県警察といたしましては、岡山県や県内市町村等の地方自治体、検察庁や弁護士会等の関係機関、そして民間支援団体であるVSCOとより緊密に連携し、犯罪被害者等を支えていく体制を充実させるとともに、社会全体で犯罪被害者等を支えていく機運の醸成に努めてまいります。皆様のご理解とご協力が、犯罪被害者等が再び平穏な生活を取り戻すための最大の支えとなりますので、引き続き、より一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

海外視察報告

VSCO 業務執行理事　片山　文

令和７年９月14日から８日間、精神医学・法学・臨床心理学の有識者、そしてNNVS認定コーディネーター４名の一人として、（公社）全国被害者支援ネットワークが日本財団の助成を受けて実施した海外調査事業（フィンランド・イギリス）に参加しました。本調査は、欧州における先進的な被害者支援の実態を学ぶことを目的としたものです。フィンランド・ヘルシンキとイギリス・ロンドンでは、非営利民間支援団体、大学病院併設の性暴力救援センター、子ども被害者のためのバルナフスモデル施設（被害を受けた子どもへの司法面接（出来事の聴き取り）から医学的診察､心理社会支援まで､子どもを中心とした「ひとつ屋根の下」で、ワンストップで提供する多機関連携拠点）警察・犯罪コミッショナー協会などを訪問しました。どの訪問先も温かく迎えてくださり、現場の取り組みや支援、また理念や制度についても丁寧に説明していただきました。

視察を通して強く感じたのは、両国ともEU被害者権利指令やイスタンブール条約といった法的基盤が、被害者支援の推進に極めて大きな役割を果たしていることです。特にEU被害者権利指令が「犯罪被害者が支援情報を得る権利」を国に義務付けたことを受け、フィンランド政府は「犯罪被害者支援は社会的責任である」と明確に表明しています。これにより、社会全体で被害者支援の重要性が共有され、被害者が自らの権利を知り、次に何をすべきか理解できる環境が整えられています。これは被害者の安心感や自己決定の尊重につながるものであり、非営利民間支援団体が社会的インフラとして位置づけられている点も印象的でした。

さらにフィンランドでは、有罪判決を受けた犯罪者が支払う「犯罪被害賦課金制度」（１件あたり40ユーロまたは80ユーロ）が導入されています。加害者に支援財源の一部を負担させる仕組みは、犯罪への制裁としての意味だけでなく、財源の安定化にも寄与し、社会全体が被害者支援を自分ごととして捉える土壌づくりにも大きく貢献していることが分かりました。

イギリスのバルナフスモデル施設 The Lighthouse では､「子どもと共にJustice（正義）の意味を再構築する支援をしている」というスタッフの言葉が胸に深く響きました。イギリスでは性虐待事案の有罪判決率が３％と極めて低く、司法の結果が必ずしも正義を実現してくれるわけではありません。だからこそ、子どもが自分の気持ちを大切にしながら、支援者と共に自分にとっての正義を探していくという姿勢が重視されていることに深い意義を感じました。日本でも、逮捕されない場合や不起訴、そして被害者等が望む量刑から大きく離れた判決が出されることがあります。勇気をもって被害と向き合っているすべての被害者が、自分にとっての正義を支援者と一緒に探していく――その関わりは、私たち民間支援団体だからこそ担っていける役割だと改めて感じました。

帰国時、ヒースロー空港がサイバー攻撃を受け、システムダウンにより航空券が発券できないというトラブルに遭遇しました。緊迫した空港内で誘導と待機を繰り返す中、「無事に帰国できるのだろうか」という不安がよぎりました。犯罪被害とは比較にならない小さな経験ですが、外国人が日本で被害に遭った際、早期に安心して支援につながれる体制の必要性を強く感じる出来事でした。

この視察で得られた知見は、広義の被害者支援、所属センター、そして自分自身の支援の在り方を振り返る、非常に貴重な学びとなりました。各国の空気感、支援への姿勢、スタッフの熱量や使命感などは、現地を訪れなければ得られないものでした。

この経験をこれからの支援活動にしっかりと活かしていきたいと思います。

VSCO この１年のあゆみ（事業報告）　2025年4月～2026年3月

事　業　名	実　施　内　容
電話面接・直接支援など	令和３年度から、県の委託を受け、性暴力被害相談員を新たに雇用するなど「性暴力被害者支援センター『おかやま心』」の充実・強化を図っています。
支援員の養成と支援体制	令和７年度は、基礎講座を５月から８月まで６回、中級講座は９月から１月まで６回開催することができました。講座受講者のうち１名を支援員（補助員）に採用しました。 令和８年４月１日現在の支援体制は、犯罪被害相談員８名、犯罪被害者等給付金申請補助員４名、電話・面接相談員21名、犯罪被害者直接支援員17名、自助グループ支援員４名、事務局職員３名、性暴力被害相談員７名となっています。
研　　修	全国被害者支援ネットワーク主催の全国研修会、中四国ブロック研修会下半期（２月）・上半期（７月）などに参加しました。また、VSCO独自の継続研修として毎月１回支援のあり方や事例検討等の研修を行いました。
広報・啓発	○ **フォーラム等の開催**（Ｐ６～７参照） ①岡山県委託事業「犯罪被害者支援講演会」 令和７年７月６日（日）ピュアリティまきび（岡山市）　参加者146名 講演「子どもを性暴力から守る～私たち大人がすべきこと～」 講師　小笠原和美 氏（慶應義塾大学SFC研究所上席所員） ②岡山県警委託事業「犯罪被害者支援フォーラム2025in おかやま」 令和７年11月23日（日）ピュアリティまきび（岡山市）　参加者103人 講演「無関心から共感へ」 講師　深迫祥子 氏（交通死亡事故ご遺族） コンサート　岡山県警察音楽隊 ③岡山市共催事業「犯罪被害者支援を考える市民のつどい」 ・令和７年２月９日（日）ピュアリティまきび（岡山市）参加者71人 講演「犯罪被害者遺族の想い」 講師　徳田さよ子 氏（殺人事件被害者ご遺族） 対談　徳田さよ子 氏（とっとり被害者支援センター理事） 片山　文 氏（NNVS認定コーディネーター、公認心理師） ・令和８年２月11日（水）ピュアリティまきび（岡山市）参加者100人 講演「想いと願い」 講師　渡邊達子 氏、渡邊　勇 氏（京都アニメーション放火殺人事件ご遺族） ○ **機関誌の発行**　例年１月に発行していた機関誌「いつでもそばに」は、令和８年度から、会計や行事年度に合わせるため７月発行（2,000部）に変更しました。会員等へ業務内容、活動状況等の報告を行うとともに、講演会・研修会等の参加者に配布し、VSCOのＰＲ等を積極的に行います。 ○ **パネル展の開催**　**「いのちと魂のメッセージ」**を講演会等の会場や岡山、倉敷、総社で開催し、被害者の声を発信しました。（Ｐ８参照） ○ **その他** ①地方自治体、学校等の講演会・研修会に講師派遣をしました。（Ｐ８参照） ②ＶＳＣＯのホームページ「新着情報」で、活動情報などを発信しています。 ③「おかやま心」ユーチューブ動画広告を夏休み期間中に配信しました。
募金活動	赤い羽根共同募金会の「テーマ募金」で、「地域から孤立をなくそう」ささえあいプロジェクトを毎年実施していますが、本年度は目標額を若干下回りました。この募金は、被害者支援員養成講座の運営費、「おかやま心」性暴力被害相談員の人件費の一部に充てています。また、ホンデリングによる寄付や募金箱の設置をお願いしています。（Ｐ10参照）
支援自販機の設置	犯罪被害者支援自動販売機の設置を呼びかけ、３月31日現在59か所に設置しています。（Ｐ10参照）。売上金の一部が寄付金となり支援活動を行う上で貴重な財源となっていますが、台数は毎年減少してきており、寄付金も減少しています。
助成事業の実施	日本財団の預保納付金助成事業として、被害者支援員養成講座や相談員に対する研修を実施しました。

令和８年度総会の開催

令和８年度定時社員総会を、６月 20 日、岡山市北区平和町の「後楽ホテル」で開催しました。令和７年度事業報告を行い、同年度決算書、貸借対照表、活動計算書、財産目録が承認されました。また、７名の理事、１名の監事が選任されました。

総会開会

○ 選任された理事　加藤裕司、片山　文、井上　淳、若林久義、中島豊爾、嶋村　稔、難波　光

○ 選任された監事　森本治雄

○ 表彰状の贈呈　VSCO 支援員　万代和美、匿名１名

○ 感謝状の贈呈

正会員歴 10 年の個人	５名	出原陽平、片山　文、中村純子 日笠久栄、室賀康史
賛助会員歴 10 年の団体	５団体	岡山医療生活協同組合、岡山市連合婦人会、(株) セキュリティハウス総社花萬 (株)、(株) バーズコミュニケーション
賛助会員歴 10 年の個人	６名	大森一枝、岡田明子、高橋吉保、日笠　栄、匿名２名
多額寄付の団体	４団体	学校法人加計学園 岡山理科大学、公益財団法人大原記念倉敷中央病院 (株) 倉敷アイビースクエア、コカ・コーラボトラーズジャパン (株)
多額寄付の個人	１名	匿名

○ 令和７年度収支報告書（概要）

（収入）正会員及び賛助会員会費、地方公共団体補助金、民間助成金、地方公共団体委託費、寄付金、雑収益等＝合計 23,129 千円

（支出）相談事業費、直接的支援事業費、相談員等養成・研修事業費、広報啓発事業費、おかやま心事業費、管理費等＝合計 22,553 千円　当期経常増減額は 576 千円の増額で、当期一般正味財産増減額は、経常外増減額（会費徴収不能額等）△ 124 千円を加えて 452 千円の増額となりました。

○ 令和８年度事業計画（重点目標）

令和８年度は、次の諸点を重点目標として、活動を行う計画としました。

（１）犯罪被害者支援のための活動を、常時多面的かつ総合的に展開する。（２）関係機関との連携を深める。

（３）地域の総合力を生かした活動を展開し、また広報啓発に努める。（４）財政基盤を確立強化する。

○ 令和８年度の役員等

顧　　問	村田吉隆	（元国務大臣 ・ 犯罪被害者等施策担当）
	岡崎　彬	（岡山ガス会長）
	皆木英也	（公益社団法人岡山県暴力追放運動推進センター元専務理事）
	松田　久	（岡山商工会議所会頭・両備ホールディングス㈱副会長）
代表理事	加藤裕司	
業務執行理事	片山　文、 井上　淳	
理　　事	若林久義、 中島豊爾、 嶋村　稔、 難波　光	
監　　事	森本治雄	
事務局長	草加成章	

社員総会後の理事会において、代表理事に加藤裕司、業務執行理事に片山文、井上淳が選任されました。

令和７年度収支報告書(概要) (単位：千円)

会費（正会員・賛助会員）		2,320
地方公共団体補助金		2,089
民間助成金		1,510
地方公共団体委託費		13,956
寄付金		3,223
雑収益		31
経常収益合計		**23,129**
公益目的事業	相談事業	5,038
	直接的支援事業	1,428
	養成・研修事業	2,999
	広報啓発事業	2,647
	おかやま心事業	5,690
	公益目的事業共通	1,804
法人会計		2,947
経常費用合計		**22,553**
当期経常増減額		**576**

広報・啓発活動

フォーラム等の開催

犯罪被害者支援講演会　（岡山県・VSCO 共催）　　令和７年 7/6

講演　**演題「子どもを性暴力から守る～私たち大人がすべきこと～」**
講師　小笠原和美 さん（慶応義塾大学　SFC 研究所上席所員）

講師　小笠原和美 さん

小笠原さんは子どもを性暴力から守るための予防教育や啓発活動に取り組み、2021 年 2 月、幼児期から小学校低学年向けの性暴力予防教育絵本「おしえて！くもくん　プライベートゾーンってなあに？」を監修、出版されました。性虐待サバイバーとの出会いから、児童虐待対応の多機関連携の構築にも取り組まれています。子どもたちがいじめ、痴漢、誘拐、虐待、性暴力といったさまざまな暴力から自分を守るための人権教育プログラム「CAP（Child Assault Prevention）」のスペシャリストとしても活動されており、CAP の重要性についてもお話いただきました。

●参加者の感想

- 今まで少し他人事に考えすぎていたなと感じました。周りの人間の対応によって、性犯罪・子どもの被害が減るということを知り、自分でも取り組んでいきたいと思います。
- 性犯罪について、自分では理解していない箇所が実は多く、それを含めて改めて学ぶことができてよかったと考えています。
- お話が聞きやすくて、あっという間でした。子どもの特性を理解すること、性暴力に対する知識をもつことが、子どもを守るために非常に大切だと感じました、現場で自分ができることに取り組むことが子どもを守る第一歩につながると信じ、頑張ろうと思います。エネルギーをいただきありがとうございました。

犯罪被害者支援フォーラム 2025 in おかやま（岡山県警・岡山県・VSCO 共催）　　令和７年 11/23

講演　**演題「無関心から共感へ」**
講師　深迫祥子 さん（交通死亡事故ご遺族・NPO 法人 Coffee aid 2021　理事長）

コンサート　**岡山県警察音楽隊**

講師　深迫祥子 さん

深迫さんは、バリスタ修行中だった 29 歳の長男忍さんを、令和元年 7 月 9 日、東京の渋谷のコーヒー店の駐車場で、配送会社のトラックと焙煎所の壁に挟まれるという交通事故で亡くされました。

故郷熊本に帰りコーヒーショップを開くという忍さんの意思を引き継ぎ、翌年、ご夫婦でコーヒーショップを開店されました。お店を営業する傍ら、令和 4 年に NPO 法人 Coffee aid 2021 を設立し、講演会、事件事故の犯罪被害者支援の啓発、緩和ケア病棟でのコーヒー提供など「命の大切さ」にかかわる活動に尽力されています。忍さんのこと、事故のこと、その後の活動のことなどを詳しくお話しいただきました。

講演後、岡山県警察音楽隊による、力のこもった演奏がありました。

●参加者の感想

- 二次加害を知らず知らずのうちに相手にしているという事を聞いて、自分も気を付けないといけないなと思いました。
- 被害者側の方の生の声を聞けたのはよかったです。二次被害のお話など経験した人にしかわからないことだと思います。自分がサポートする側になったとき大切なこともわかりました。
- 「被害者に対しての無理な言葉かけは必要ない。何も言わなくていい。そっと側にいてくれるだけでいい。」私も大切な家族を亡くしたことがあり、同じことを感じていたので、とても共感しました。加害者も故意で起こした事故ではなかったのでしょうが、被害者ご遺族の苦しみを強く感じました。

犯罪被害者支援を考える市民のつどい　（岡山市・VSCO 共催）　令和７年 2/9

講演　演題「犯罪被害者遺族の想い」

講師　徳田さよ子 さん（殺人事件被害者ご遺族・とっとり被害者支援センター理事・自助グループ「なごみの会」会員）

対談「わたしたちにできる被害者支援」

講師　徳田さよ子 さん

徳田さんは2003年１月、薬剤師として鳥取市内の病院に勤務していたご次男を、４人組の男による暴行事件で亡くされました。事件後、徳田さんやご家族は、相談窓口もなく、毎日受け続けるストレスなどにより大病を経験されました。

その後、県内の犯罪被害者遺族とともに、自助グループ「なごみの会」を結成されました。そして、翌年には、鳥取県に「犯罪被害者支援センター」が設立されました。

これらの経緯の詳細や犯罪被害者支援の必要性や制度の充実について、お話しいただきました。

講演後、とっとり被害者支援センター理事でもある徳田さんと全国被害者支援ネットワーク認定コーディネーター・公認心理師のVSCO業務執行理事片山が「わたしたちにできる被害者支援」というテーマで対談を行いました。

●参加者の感想

- 被害者や遺族の方々の人権が大事にされていない日本の現状について、具体的にお話くださり、今日うかがったことはごく一部だと思うのですが、少し理解できたと思います。日本の制度が改善されるよう心から願います。
- 支援において「寄り添う」ことは、何か特別なことをしなければならないわけではなく、「その人のことを考えているよ」という思いが伝わると良いというお話が印象的でした。
- 悲しみと大変なストレスや大病のなか、自助グループを結成されたり、社会活動をされていることに頭が下がります。お話を聞いて、あらためて、被害直後からの相談窓口やカウンセリングの重要性を感じました。

犯罪被害者支援を考える市民のつどい（岡山市・VSCO 共催）　令和８年 2/11

講演　演題「想いと願い」

講師　京都アニメーション放火殺人事件ご遺族　渡邊達子 さん（母）・渡邊　勇 さん（兄）

2019年７月18日、京都市伏見区のアニメ制作会社「京都アニメーション第一スタジオ」で放火殺人事件が発生、多くの有能なスタッフが犠牲になりました。この事件で犠牲となられた渡邊美希子さん（当時35歳）は、京アニを代表するアニメーターであり、美術監督も務めるなど、多くの作品で中核スタッフとして活躍されていました。大切な家族を突然奪われたお母様とお兄様、耐え難い苦しみを抱えながらも全国各地で講演活動を続けておられます。今回の講演でも事件発生の日以降のこと、裁判のことなど詳細にお話くださったうえで、犯罪被害者支援の重要性や必要性を訴えられました。会場の一角には、ご持参いただいた美希子さんのすばらしい作品のパネル展示コーナーを設置し、ご来場くださった皆さんにご覧いただきました。

●参加者の感想

- 「まさか自分の家族がこんなことに巻き込まれるとは思ってもいなかった」という言葉。自分自身も含め、「自分たちは大丈夫」と考えず、時折でいいので危機意識をもたないといけないと感じた。
- お母さまとお兄さま、家族であっても受け止め方、思いはそれぞれ違うことがわかりました。
- 被害に突然あわれ、大切な家族を亡くされ、大変な思いをされたことが伝わり、涙が出ました。身近な人だけでなく犯罪被害のない社会を望まれ、大切な人に感謝を込めたメッセージを伝える活動をされているということをお聞きし、素晴らしいと思いました。私もありがとうを伝えたいと思います。

講演会・研修会講師派遣，パネル展の開催

岡山市ふれあい公社開催・岡山市立放課後児童クラブ職員対象研修会

令和７年 10/14・11/11　於：西ふれあいセンター　11/19　於：南ふれあいセンター

岡山市ふれあい公社が運営されている岡山市立放課後児童クラブの職員を対象にした研修会で、VSCO の片山文業務執行理事が「子どもの性暴力の現状と対応について」という講演を行いました。

教育・保育などのこどもに接する場での、こどもへの性暴力を防ぎ、こどもの心と身体を守るため、令和６年６月「こども性暴力防止法」が成立しました。この法律で定められている取り組みは令和８年 12 月 25 日に施行されます。

小学生を受け入れる放課後児童クラブもこの法律の対象施設となっています。まずはこどもに対する性暴力や性犯罪の現状を知っていただきたいという VSCO の思いと、今後の大きな課題であるという岡山市ふれあい公社の問題意識が合致し、今回、初めて講演をさせていただきました。

携わる職員全員に周知させたいというご要望を受け、令和８年度もご依頼を受け、研修会を実施しています。

●受講者の感想

相談を受けた時の対応、児童からの過度な性的接触についての対応を学ぶこともでき、とても有意義だったと感じます。児童との距離感や行動の指針を得ることができたと感じます。配布された『いやだなをかいけつする本』はクラブの帰りの会などで紹介し、児童一人ひとりに伝えるために活用したいと感じました。（職員にも読んでもらいたいと感じました）何が性暴力であるかはしっかりとすべての世代に浸透させるべき感覚だと強く感じました。「被害も加害も傍観も知ることでなくしていける」という言葉はとても心に響きました。

総社市社会福祉協議会主催・犯罪被害者支援講演会

令和７年 11/28　於：総社市役所チュッピーホール

総社市社会福祉協議会主催の「令和７年度犯罪被害者支援講演会」が犯罪被害者週間に合わせ開催されました。昨年度に引き続き、VSCO に講師派遣のご依頼があり、今年度は片山文業務執行理事が「SNS から始まる犯罪被害の現状」というテーマで講演を行いました。同時に会場の一角で「いのちと魂のメッセージ」パネル展を開催しました。

倉敷市主催・犯罪被害者支援パネル展

令和８年 3/2 ～ 3/16　於：倉敷市役所市民ホール

倉敷市主催の「犯罪被害者支援パネル展」が令和７年度も開催されました。

●担当者コメント

私は令和７年４月に生活安全課に配属され、犯罪被害者等支援に携わることとなりました。配属当初は「犯罪被害者支援」という言葉に馴染みがなく、業務の具体的なイメージも湧きませんでした。被害者の方が窓口に相談に来られた際、どのように対応すべきか分からず、とまどいや不安を感じていたことを覚えています。「おかやま被害者支援ネットワーク会議」の総会や実務担当者会議にも参加しましたが、年 1、2 回の実施では支援の全容を網羅することは困難で、その不安を解消すべく、VSCO が主催する「犯罪被害者支援員養成講座」を受講し、養成講座を通じて被害者支援の領域の広さを改めて実感しました。

被害者の方からの相談があった場合、総合的対応窓口として課題を整理し、市内の担当課や外部の専門機関へと適切に繋ぐことが私たちの役割です。各機関で「何ができて、何ができないのか」を正確に把握するためには、自主的な研鑽が不可欠です。その勉強方法として、今回の養成講座は有用でした。特に裁判傍聴や電話対応の実務実習は、現場感覚を養う貴重な経験となりました。いざという時に円滑な連携を図るため、常日頃から信頼関係を築いておくことが、迅速かつ途切れのない支援に繋がると確信しています。

その具体的な取り組みとして、VSCO の皆様と共催する市役所１階展示ホールでの「パネル展」の開催や、相談者の方が来庁しやすい市役所の特性を活かした「カウンセリングの場所の提供」などの取り組みを継続してまいります。

被害者支援活動の実施状況

2025年4月～2026年3月

1 相談件数（継続相談を含む）

■電　話　583

■面　接　 23

■その他　 12

■面接相談の端緒

電話相談後	21	他機関の要請	2
その他	0	計	23

2 相談の内訳

■男女別相談件数（継続相談を含む）

男	116	女	478	不明	24	計	618

■相談（被害）内容（継続相談を含む）

被害内容	件数	被害内容	件数
殺人・傷害致死	1	交通死亡事故	6
強盗（致死傷）	0	交通事故	6
不同意性交等	172	財産的被害	18
不同意わいせつ	72	ＤＶ	77
その他の性暴力	108	ストーカー	8
暴行・傷害	13	虐待（いじめ）	2
その他の身体犯	4	その他	131
危険運転致死傷	0	計	618

3 紹介（件数）

岡山弁護士会	0	県消費生活センター	2
ＬＡ岡山	1	交通事故相談所	1
法ﾃﾗｽ岡山地方事務所	13	「おかやま被害者支援ネットワーク」加盟機関（上記以外）	3
精神科医	0		
臨床心理士	0	警察	22
県女性相談所	1	上記以外の機関	16
県・市児童相談所	3	計	62

4 直接的支援関係（回数）

警察関連支援	4	**行政窓口等付添**	2
警察への付き添い		県女性相談所への連絡・付添い	
被害届・告訴状の提出サポート		県・市児童相談所への連絡・付添い	
被害者連絡制度の利用		関係機関連絡会議への出席と連携	
警告等の申出のサポート		公営住宅等の確保等	
検察庁関連支援	0	引っ越し・住民票開示等	
検察庁への付き添い		**病院付添い**	18
被害者等通知制度の利用		病院（産婦人科医含む）紹介・付添	
不起訴記録の開示		エイズ検査への立会	
検察審査会への申立など		精神科医の紹介・付添い	
		支援金等の支給	16
出所情報の確保など		**自宅訪問**	0
裁判関連支援	20	**生活支援**	0
弁護士相談への付添い		**宿泊施設提供**	0
刑事裁判・審判への付き添い		**その他**	10
代理傍聴		法テラスへの付添い	
意見陳述のサポート		仲裁センターへの付添い	
保護命令申立など		マスコミ対応	
証人の遮蔽・ビデオリンクなど		その他	
		自助グループ	0
		自助グループ開催	
合計 70			

性暴力被害者支援センター「おかやま心」の実施状況

上記 VSCO「被害者支援活動の実施状況」の内数になります。

1 相談件数（継続相談を含む）

■ 526

2 相談の内訳

■男女別相談件数（継続相談を含む）

男	83	女	420	不明	23	計	526

■相談（被害）内容（継続相談を含む）

不同意性交等	144
監護者性交等	28
不同意わいせつ	69
監護者わいせつ	3
その他の性被害	105
DV	77
ストーカー	8
その他	92
計	526

3 相談の端緒（件数）

ホームページ	41	関係機関からの紹介	18
トイレステッカー	5	友人・家族	4
リーフレット	5	その他	205
警察提供・教示	7	計	285

VSCOからのお願い

ＶＳＣＯでは、毎年、多くの個人や団体にご協力・ご支援をいただいています。皆さまのご協力をお願いします。

●犯罪被害者支援自動販売機の設置

自販機の設置により、設置者から、販売手数料の全部または一部を寄付していただくものです。寄付金は、犯罪被害に遭われた方やそのご家族、ご遺族の支援に充てられます。社会貢献の一環として、この**自販機を設置していただける方や団体を募集**しています。設置を検討してくださる場合は、ＶＳＣＯ事務局へご連絡ください。

ご協力ありがとうございます

［自販機設置場所］　※敬称略、名称は設置場所、順不同

公益財団法人慈圭会　慈圭病院、㈱大本組　本店ビル、西の屋赤坂店、西の屋菊ヶ峠店、ドコモショップ平井店、ドコモショップ総社店、ドコモショップ津山小田中店、ドコモショップ岡山瀬戸店、㈲西山建設商事、環太平洋大学（２台）、㈱セキュリティハウス、みのる産業㈱本社工場（３台）、みのる化成㈱本社、みのる化成㈱クリーンパックス工場（２台）、みのる化成㈱くろがね工場（２台）、みのる化成㈱牟佐工場、ＥＮＥＯＳ㈱水島製油所、エムシー・ファーティコム㈱（４台）、岡山理科大学（５台）、モリマシナリー㈱、ＪＦＥ西日本ジーエス㈱ＪＦＥ見学センター、吉備国際大学、小金井自動車学校（栃木県）、太秦自動車教習所（京都府）、公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構　倉敷中央病院、㈱倉敷アイビースクエア、三菱自動車工業㈱水島製作所、医療法人社団尚志会 福山城西病院（広島県）、サンコー印刷㈱工場、社会医療法人盛全会 岡山西大寺病院、新見公立大学（２台）、㈱サンラヴィアン（２台）、社会福祉法人恩賜財団済生会支部岡山県済生会　岡山済生会総合病院、㈱千田組　本社、アットパーク大供　第2駐車場、玉野総合医療専門学校、㈲大成玩具、グッドライフグループ津高介護センター、津島新野、岡山地方法務局、岡山地方法務局　西古松合同庁舎、美作大学 新白梅寮、㈱カーテン・じゅうたん王国 岡山今店、あいおいニッセイ同和損害保険(株) 岡山支店岡山支社、第２アマノビル（設置台数59台）

［協力ベンダー会社］

サントリービバレッジソリューション（株）、ＦＶジャパン（株）、コカ・コーラボトラーズジャパン（株）、（株）キリンビバックス、ヒカリエンタープライズ（株）、ネオス（株）、（有）日東ベンディング中国、（株）コーシン、（株）野口商店、（株）フジタ商事、（株）伊藤園、（株）スギノ

♡支援自販機で飲物をご購入いただくことも支援につながります！

●本で広がる支援の輪～ホンデリング～

ホンデリングは不要になった書籍、CD、DVD、ゲームソフトなどを寄贈していただくことにより、犯罪被害に遭われた方々への支援活動に役立てるプロジェクトです。
ご協力よろしくお願いします。

（注）ISBN のない本、百科事典、コンビニコミック、個人出版の本、マンガ雑誌、一般雑誌は取り扱いできません。

ISBN の見本

ISBN978-4-1234-5678-9

●募金箱の設置

店舗、病院、企業等に VSCO の募金箱を置かせてください。
12 月 31 日現在、岡山県パチンコ・パチスロ業協同組合の加盟店・病院・美容院・喫茶店等 59 か所に設置していただいています。

●ご寄付

時期、金額を問いません。お気持ちのある方は、VSCO 事務局にご連絡ください。
※ご寄付・賛助会費には、税制上の優遇措置がございます。
詳細は VSCO 事務局へお問い合わせください。

一般財団法人「厚生会」から毎年多額の寄付金をいただいております。
ご支援ありがとうございます。

正会員・賛助会員になって、VSCOをサポートしてください

正　会　員　当センターの目的に賛同し、その運営に参加する個人、団体です。
賛助会員　当センターの事業を財政面で支援してくださる個人、団体です。

年会費は、次のとおりです。

正会員	個人	1口　10,000円		**賛助会員**	個人	1口　2,000円
	団体	1口　30,000円			団体	1口　10,000円

ご不明の点は、VSCO事務局（電話 086-223-5564）へお問い合わせください。

公益社団法人被害者サポートセンターおかやま（VSCO）会員名簿（2026.3.31　現在　50音順　敬称略）

会員の皆様、いつもご支援ご協力ありがとうございます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

正会員　【個人】

逢沢　一郎	衆議院議員
荒木　信之	弁護士
家野　昌子	非常勤講師
板野　次郎	弁護士
出原　陽平	看護師
伊東　京子	
井上　志乃	
井上　　淳	地方公務員
井上　雅雄	弁護士
今村恵美子	弁護士
大塚　　愛	岡山県議会議員
奥田　哲也	弁護士
鬼木のぞみ	岡山市議会議員
小野田紀美	参議院議員
片山　　文	公認心理師
片山　惠子	
加藤　勝信	衆議院議員
加藤　裕司	自由業
金重恵美子	岡山中央病院 副院長
木口　京子	岡山県議会議員
桐野　忠夫	地方公務員
草加　成章	団体職員
桑田　桂子	岡山市議会議員
小山　　実	岡山商科大学付属高校 教員
澤畑　優太	弁護士
嶋村　　稔	
鈴木　一成	会社経営
高橋　雄大	岡山市議会議員
高原　俊彦	岡山県議会議員
坪井　一彦	社会福祉ボランティア士
鶴井　洋子	会社員
寺田　和子	保健師
飛山　美保	弁護士
中島　豊爾	
中村　純子	
鍋島　千秋	
難波　　光	
新谷　恭二	㈱リースキン岡山 代表取締役
萩原　誠司	美作市長
橋本　　岳	衆議院議員
林　　　潤	岡山市議会議員
播間　友恵	
日笠　久栄	
東　　隆司	弁護士
福田　　司	岡山県議会議員
堀井　茂男	慈圭病院 名誉院長
前原　幸夫	代表社員（税理士）
松本　好厚	岡山市議会議員
三木　亮治	岡山市議会議員
宮本美穂子	弁護士
室賀　康史	室賀ネジ機工㈱代表取締役
森脇　　正	弁護士
森脇　久紀	岡山県議会議員
安田　　寛	弁護士
山﨑　悦子	
山本　諒平	弁護士
吉田由紀子	
若林　久義	会社役員

以上の他に匿名希望23名、合計81名です。

正会員　【団体】

株式会社　山陽設計
西尾総合印刷　株式会社
蜂谷工業　株式会社
ライフデザイン・カバヤ　株式会社

以上の４団体です。

賛助会員　【個人】

五十嵐美沙	岡田　明子	﨑本　敏子	瀧本　　孝	花田　雅行	三浦　一男	山田　成一
出井　敏雅	岡田　孝文	笹井　初音	伊達　勝則	原田　清志	水川美代子	山田　哲也
猪木　健二	小野富貴子	佐藤　義広	土器　悦子	日笠　　栄	水舟　雪枝	山水祐喜子
今井　洋子	小埜　雄一	芝田　正剛	中川　佳子	疋田　克繁	三村美智子	山本　賢昌
五代儀幸司	勝浦　義政	嶋村　洋子	永瀬　隆一	平田　祥之	三宅　邦子	渡辺　典子
岩瀬　玲子	河端　武史	新谷　芳子	中塚　多聞	平部　一美	三宅　修司	
上田のぞみ	木村　健治	神土　純子	中西　邦夫	藤井　惠子	森本　治雄	
上山　俊明	日下　知子	鈴木　正二	中村　叡子	藤澤　浩子	八代　武利	
太田垣弘枝	黒瀬　達夫	角南　真澄	中山美恵子	藤原　一徳	矢野　有哉	
大森　一枝	小林　　淳	髙橋　　茂	難波　賀惠	本城　宏一	山﨑　真男	
岡崎　尚子	酒井　健裕	髙橋　吉保	仁木　　壯	松岡　滋郎	山﨑　資司	

以上の他に匿名希望70名、合計141名です。

賛助会員　【団体】

ＲＳＫ山陽放送　株式会社
有限会社　アーバンホール
株式会社　アイスライン
株式会社　大手饅頭伊部屋
オカネツ工業　株式会社
岡山医療生活協同組合
岡山県貨物運送　株式会社
公益社団法人　岡山県看護協会
岡山県美容生活衛生同業組合
岡山県民共済生活協同組合
岡山商工会議所
岡山商工会議所女性会
岡山市連合婦人会
おかやま信用金庫
株式会社　岡山製紙
岡山タイヤ販売　株式会社
岡山北西ロータリークラブ
株式会社　小倉組
弁護士法人　菊池綜合法律事務所
木下サーカス　株式会社
株式会社　木村設計
一般財団法人　倉敷成人病センター
クラブン　株式会社
医療法人　ミネルヴァ　クリニックソフィア
株式会社　廣榮堂
サンコー印刷　株式会社
山陽施設工業　株式会社
株式会社　山陽新聞社
株式会社　サンブレラ
株式会社　サンラヴィアン
公益財団法人　慈圭会　慈圭病院
医療法人　清水医院
医療法人　清水レディス・クリニック
株式会社　セキュリティハウス
総社花萬　株式会社
損害保険料率算出機構　岡山自賠責損害調査事務所
株式会社　中国銀行
中国建設工業　株式会社
テレビせとうち　株式会社
天台宗　本性院
天台宗　岡山教区宗務所
株式会社　トマト銀行
株式会社　トンボ
ナカシマプロペラ　株式会社
中谷興運　株式会社
有限会社　中村保険企画
ネッツトヨタ山陽　株式会社
株式会社　バーズコミュニケーション
株式会社　馬場総合鑑定所
備北信用金庫
福山電業　株式会社
株式会社　フジワラテクノアート
更生保護法人　備作恵済会　古松園
医療法人　水清会　水島第一病院
三井住友海上火災保険　株式会社　岡山支店
みのるホテル事業　株式会社（後楽ホテル）
学校法人　森教育学園
株式会社　山田養蜂場本社
ユニック中四国販売　株式会社
一般財団法人　共愛会　芳野病院
株式会社　両備システムズ
両備ホールディングス　株式会社

以上の他に匿名希望７団体、合計69団体です。

被害者支援ボランティア養成講座のご案内

犯罪被害者等支援
シンボルマーク
「ギュっとちゃん」

VSCO は、犯罪や交通事故などによる被害者やそのご家族・ご遺族の方に対して、電話・面接相談や警察署・検察庁・裁判所や医療機関・行政機関へ付き添うなどの支援を行っています。

そのため、当センターで支援活動をするボランティアを養成する講座を開催しています。2026 年度は7月から開講しました。2027 年度も開催する予定です。（詳細は 2027 年４月頃ホームページへ掲載予定です）

基礎講座は被害者支援ボランティアを目指す方に加え、被害者支援に関心があり、学びたいという方の受講も受け付けます。

基礎講座受講を希望する方（審査あり）
↓
基礎講座
基礎講座受講者（原則皆勤）で希望する方（審査あり）
↓
中級講座
本人の希望と面接、VSCO の審査
↓
被害者支援補助員として登録

相談・支援は無料　秘密厳守

犯罪被害相談電話

086-223-5562（にーさん　こころに）
月～土　10時～16時
（祝日・年末年始は休みます）

性暴力被害者支援センター「おかやま心（こころ）」

086-206-7511
月～土　9時～17 時
（夜間・休日は国のコールセンターが受け付けます）

＃8891（はやくワンストップ）（全国共通短縮番号）

VSCOおかやま　検索

編集後記

梅雨の合間の青空に、夏の訪れを感じる頃となりました。今回の機関誌第21号から機関誌発行月を7月としました。今後とも皆様に親しまれる広報誌づくりに努めてまいります。

引き続き、VSCOの被害者等支援活動に温かいご支援をよろしくお願いいたします。　広報委員長

岡山県公安委員会指定犯罪被害者等早期援助団体
全国被害者支援ネットワーク加盟・民間支援団体
公益社団法人被害者サポートセンターおかやま
(VSCO（ヴィスコ）)
事務局　〒700-0824　岡山市北区内山下2丁目２番 15 号
電　話　(086)-223-5564
ＦＡＸ　(086)-201-5564
E-mail　vsco@vsco.info
ＨＰ　http://vsco.info

この機関誌は、「赤い羽根共同募金」の助成を受けて作成しています。